

東御市

市議会だより

第64号
2020.2.1



災害復旧 未来へダッシュ！

表紙の写真

復旧へ
海野宿橋の工事現場

令和元年12月定例会

湯の丸特設プール関連	2～5
台風19号復旧補正予算	6～7
「議会報告会・議会と語る会」の報告	8～9
提出案件の審議結果/ 可決した条例審査・補正予算	10

決算審査・定期監査結果報告/

話題を追って	11
市政を問う（11人の議員が質問）	12～17
若者フォーカス 「東御市社会福祉協議会」のみなさん	18

特設プール

7億円起債 財源は寄附金と国の交付金

8対7 1票差で可決



湯の丸特別会計

湯の丸特設プール事業費の状況 総額6億5,000万円

平成30年度	予算	企業版5億1,600万円	個人版、一般寄附等	
	決算	企業版1億4,400万円	個人版、一般寄附等1億6,380万円	不足分1億6,380万円起債
総額4億1,000万円に縮減				
総額9億3,240万円(補正予算含む)				
平成31年度	予算	企業版7億5,000万円	個人版、一般寄附、国庫支出金等	
	期末見込	個人版、一般寄附、国庫支出金等	企業版930万円(R元年12月末現在)	不足分7億円を起債
年度末で4,000万円の見込み				

施設運用の現状と今後

施設の運用が始まり、日本水泳連盟の強化合宿も利用されています。質疑では、利用の現状と今後の方向がテーマの一つとなりました。企画振興部長は、プール

竣工後、水連など合宿利用が1400人へのぼり、今年度の宿泊総数が、今後の予約を含めて1万3060泊が見込まれると報告しました。経済効果では宿泊による利用料金収入で総額1億6000万円が見込まれます。

運用面での課題としては、プール利用団体ごとの練習時間の調整、宿泊施設の確保や割り振り、合宿練習休

ここが質疑のポイント

- 1 施設運用の現状と今後
- 2 なぜ寄附金が集まらないのか
- 3 なぜ12月議会で起債するのか
- 4 「集めきる」と約束してきた責任は
- 5 「償還計画」の見通しは

なぜ寄附金が集まらないのか

特設プール建設事業は今年度が最終で、施設は既に完成し、運用が始まっています。しかし今年度の事業費の7割をこえる歳入不足が見込まれ、起債案が提出されました(上の図参照)。質疑ではこの点に質疑が集中しました。花岡市長は、目標額に届

なぜ12月議会で起債するのか

昨年度の寄附金不足に対応した起債は3月議会に提案されていますが、今年度12月議会に起債案を提案した理由について「国や県から議会の承認を得てからでないと認められないと言わ

市長は事業最終年度に当たり「不転の決意で集める」としてきましたが12月議会時点で寄せられた企業版寄附金は930万円です。質疑で市長の寄附金収集活動の記録が示され、秋口以降はその活動が見られないとの指摘も。各議員から「期末の3月までまだ期間があり、いま起債でなく、集める努力をするのが市長責任ではないか」との質問が相次ぎました。

は、ネーミングライツを受けたGMO等の担当者との協議で「企業版寄附金は来年度のふるさと納税制度変更後になれば検討するといわれた」「今回、寄附を待つために7億円の起債をお願いする」と述べ、大口の寄附予定企業との話し合いの結果だとの認識を示しました。

「償還計画」の見通しは

市長は7億円起債とセットで起債の償還と年間償還額約1億円、運営費7000万円の計1億7000万円を国の交付金と寄附金で充てるといふものの。寄附金は今年度までの実績をもとに集めることが可能な額を見積もったとの説明がありました。

また、一般財源から基金を充てて償還を早め、3年で体育館に転換すべきだとの提案もありました。

市が示した償還10ヵ年(抜粋)

年度	R2	R3	R6	R7	R11	
償還額	2,056万円	1億514万円	1億425万円	1億396万円	1億437万円	
運営費、借料等	7,300万円	7,300万円	7,300万円	7,300万円	7,300万円	
歳出合計	9,356万円	1億7,814万円	1億7,725万円	1億7,696万円	1億7,737万円	
財源	個人版	9,300万円	9,300万円	9,300万円	9,300万円	9,300万円
	企業版	3,800万円				
	一般	1,200万円	8,700万円	8,700万円	4,900万円	4,900万円
	諸収入	3,700万円				
	交付金	180万円	416万円	1,752万円	1,750万円	1,734万円
合計	1億8,180万円	1億8,416万円	1億9,752万円	1億5,950万円	1億1,934万円	
基金	積立(差引)	8,824万円	602万円	2,027万円	△1,746万円	△1,803万円
	残高	8,824万円	9,426万円	1億4,879万円	1億3,133万円	6,246万円

議案を再提出

特設プール建設に関連する7億円起債案は当初、一般会計補正予算案に計上され、市議会に提出されました。同補正予算には約19億円の台風19号関連予算が組まれています。

湯の丸関連は会計処理を明確にするためとして今年度から特別会計を設置しています。議会から、台風関連と賛否が分かれている湯の丸関連の「抱き合わせ」は不適切だと強く指摘しました。この結果、市はいったん議案を撤回、7億円起債案は湯の丸特別会計補正予算に計上し直して再提出となりました。

質疑では、この計画の当初から市長がプール建設資金はすべて寄附金等で賄い、「集めきる」と約束してきたことが改めて問題になりました。一昨年12月議会の債

「集めきる」と約束してきた責任は

務負担行為設定では「すでに10億円が約束されている」とし、昨年度の予算編成では「5億円は実現できる」とし、今年度予算では「最終年度であり集めきる」としてき

たからです。この点を指摘されて市長は「相手に待ってくれと言われれば待たざるを得ない。時間的余裕をいただきたい」「関係を維持しながら来年度に真摯に検討していたら」と釈明しました。

また、「集めきる」としてきたのにそれが実行できなかった責任を問われ、市長

は、「厳しい批判は真摯に受け止める」と述べました。これに対し、「市長任期は来年4月までであり、その任期内に責任を果たすことこそ求められる」との意見がありました。

湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算が可決したのをうけて、柳澤旨賢議員から「湯の丸高原特設プール建設における市長責任及び今後の対応に関する決議」が提案されました。

討論ののち賛成11反対4で可決されました。

賛成11 反対4

議員提出議案
第4号

市長責任及び今後の対応に関する決議

湯の丸高原スポーツ交流施設の特設プールは、東京オリンピック・パラリンピックに向けたトレーニング用として、当初国に設置を要請してきたが、他の施設整備もあり国での建設が不可能となったことから、市単独で建設することとし、その費用は企業版ふるさと納税など寄附金ですべて賄うこととした。

ことは遺憾であるが、市長の責任は重大である。起債により新たな資金計画の樹立が必要となった事、当初のプール運営計画を大きく狂わす事など、当初計画を大幅変更せざるを得ない状況となった。

その後、建設費の支払い期日に寄附金が集まらずに、平成31年3月補正で1億6380万円、令和元年12月補正に7億円の地域活性化事業債の起債を予算化することとなった。

市長はその責任を明確にするとともに、猛省を促すものである。今後の特設プールにかかる起債の償還及び運営に関しては、以下の項目について早急なその方策を検討し、市長任期中に確実な実行計画の樹立を求めるものである。

- ①多額な運営経費をすべて寄附金等により、市の責任で長期間負担し続けることは非常に困難であり、当初計画した3か年を中途に市が主体でない運営形態を確立し、市負担の軽減を図ること。
- ②起債の早期償還に向けて、寄附金確保の見通しをつけること。

この間、市長は寄附金の進捗状況について、その都度集めきると明言しており、確実に集まることを議会に説明してきた。今年の3月議会及び9月議会の2回にわたり、寄附金を集めきることとした議会の決議にかかわらず、現実集められた寄附金は予定した金額にはほど遠いものとなり、多額の起債をせざるを得ない結果になったことは、市長の見通しの甘さがあったことを否定出来ない。

議会としても、当初の債務負担行為における寄附金収入の確実性をチェックできなかった

湯の丸決議反対討論

平林 千秋

議会がいまやるべきことは、不履行に至った市長の行政責任を明確にするとともに、当初予算に沿って確実に執行することを市側に求めることだ。しかし本議案は、この中心問題の究明と実施は棚上げにし、猛省を促すとはしているものの、市が早々巨額借金、起債することを容認した上で、その注文は既に市が示している内容をなぞり、期間を短縮するよう求めたにすぎない。いかなる計画ができたとしてもその執行は、市長の任期外にあり実効性は保証できない。

議案第65号

湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算

賛成

討論

Discussion

反対

賛成討論

長越 修一

個人版・企業版ふるさと納税やネーミングライツの導入で、外資によって整備する画期的なものである。償還計画・運営計画も有利な起債、広告収入による財源確保が可能である。

賛成討論

高木 真由美

市債の7億円は地域活性化事業債であり、国が3割を負担。また、企業版ふるさと寄附制度が見直され、財源の確保が可能のため、一般財源に手をつけず最善策と考える。トップ選手の利用を通じ、ジュニア世代へも高地トレーニングが広がる可能性がある。

反対討論

阿部 貴代枝

3月に続く今回の7億円の起債であり問題だ。今年度3月まで必死で寄附集めをして、3月議会で起債の提起をすべきである。

反対討論

窪田 俊介

寄附金を集め切れないのは企業の都合だ。地方自治、住民自治に影響を与える。国が示した枠内で自治体間競争を強いられ、中央に隷属せざるを得ない地方財政の現実がある。一旦足を止めて地方創生の検証をすべきである。

反対討論

平林 千秋

最終年度である31年度末までに寄附が集めきれず、年度途中での起債の提起は、財政規律に反するものである。全てを寄附金で賄うとした計画自体が無謀であり予測や期待値に頼った放漫財政は許されない。償還計画も世界情勢、消費増税の経済基盤の劣化等を考えると何の保証もないものである。

反対討論

若林 幹雄

起債は昨年度の1億6千万円と合わせると9億円弱にもなり償還の終わる10年後までプールを維持することになり、管理費は10年で7億円、合計16億円にもなる。人口が減少し、高齢化率も35%にもなる10年後までの維持管理は極めて疑問である。

賛成10 反対5

議案
第68号

市長給料50%カット

東御市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が提案され賛成10反対5の賛成多数で可決されました。

提案の理由は、湯の丸高原屋内運動施設事業に係る企業版ふるさと寄附金が、本年度当初予算における目標額に届かず、不足分を起債で手当てする状況に至ったことを重く受け止め、市長に支給する給料を減額する措置を講ずるものです。

現市長の任期中である令和2年1月から同年4月までにおける給料月額について、100分の50を減額するものです。

市長給与削減条例反対討論

平林 千秋

市長責任にかかわる重要な議案であり、議会でもきちんとした論議の上で決していかなければならないのに、突然の提案は、その前提を欠いている。なおかつ事柄の大きさからすると50%減俸だけで済むのか、議会も市民も納得する道をとるべきだ。

市長給与削減条例反対討論

若林 幹雄

最終日に時間的余裕もなく、出し方は非常に遺憾だ。責任をとるといふのであれば、正々堂々とおこなうべきであって、補正予算が通ったら給料を減俸する。通らなかつたら減俸しない、これは本当に意味での責任の取り方ではない。

災害復旧予算に19億円!

台風19号

成の満水に次ぐ雨量

東御市に大きな災害をもたらした昨年の台風19号。12月定例会では、一般会計補正予算に約19億円の復旧予算が計上されました。復旧の見通しや工事方法、復旧費用など多岐にわたる質疑が交わされました。多くの議員が早期復旧と改良復旧を求め、全会一致で可決されました。

道路・橋梁関係

市内の被害状況

市がとりまとめた概要として、道路・橋梁・河川においては、以下の通り報告されました。

道路被害▼土砂崩落による、路面堆積や陥没など、県道で24カ所、市道で54カ所。

橋梁被害▼護岸崩落や下部工崩落による落橋が、県道・市道路線で7カ所。

河川被害▼護岸崩落や土砂堆積など、千曲川・鹿曲川とその支流で31カ所。

復旧状況
橋梁崩落路線を除く道路が、早期に復旧・応急復旧さ

れました。そのほかの復旧は、国の激甚災害に指定されたため、国の査定終了後となります。

国・県・市それぞれが、所管する被害箇所の復旧を進める中で、市では、市民生活に直結する被害箇所を優先して、概ね3年以内の全復旧を目標としています。

復旧予算

現在、市が計画している当該公共土木に関する復旧



流された切久保橋を視察



水田の土砂流入現場視察 島川原地区水田

農業関係

市内の被害状況

市が取りまとめた概要は、次の通り報告されました。

農地被害▼のり面崩壊等による284カ所。

農業施設・水路被害▼浸水や流失等による87カ所。

農作物被害▼リンゴ、ブドウ、水稲等で49カ所。

林道被害▼のり面崩壊や倒木等による9カ所。

山林被害▼斜面崩落等に

復旧状況

水田・池・畑等の直接の被害箇所は、基本的に、春の作付けに間に合わせる復旧が進められています。

しかし、復旧費用の補助基準に「費用が40万円以上の被害箇所は国の補助5万円、40万円未満は市の補助5万円未満は自力復旧」とあり、国の補助対象箇所では、国の査定終了後の

復旧になるため、今年作付けに間に合いません。また、自力復旧の被害箇所では、多面的機能支払や中山間地直接支払事業の取り組み組織が補助対応している地区もあります。

復旧予算

現在、市が計画している当該農林関連の復旧予算は15億4859万4千円と示されており、10月専決分と12月補正分及び若干の予備費充当分を、12月議会で承認しました。

農業関連の復旧費用補助率は、国が対応する被害箇所は96%前後、市が単独対応する被害箇所は80%が本来の基準ですが、市では、一律96%程度で対応することになりました。

その他の主な被害状況と復旧見通し

今回の台風では湯の丸も大きな被害となりました。湯の丸キャンプ場へのアクセス道路、第2駐車場が大きな損傷を受け、400mトラックののり面も大きく崩れてしまい、合わせて約4500万円の復旧費が計上されました。のり面の復旧工事には、排水路の強化も求め、市もその方向で行うとの事です。

ライフライン関係では、水道が北御牧地区の切久保橋の流失に伴い、併設されていた佐久水道企業団の水

道管が流失し、大日向から常満にかけて6区(切久保区は一部)が一週間断水となりました。断水となった地区には、公民館などに給水タンクを設置し飲料水確保の措置が取られました。

停電も市内各所で発生し、540戸が停電となり、最長では4日間にわたり停電した地区もありました。

また、布下にあつた御牧乃湯の源泉の制御盤が水没し修繕が必要となり280万円の修繕費が計上されました。

海野宿橋の崩落により「しなの鉄道」が運休となり通勤・通学に大きな支障が出ましたが、バスや新幹線による代行輸送が行われ、護岸復旧の緊急工事が短期間で完了し約1カ月後に再開されました。



400mトラックののり面



令和元年度の議会報告は、議会報告会と市民の関心の高い個別テーマで懇談する「議会と語る会」の二本立てで行いました。それぞれ率直なご意見、要望をいただきました。これを踏まえ、より一層開かれた議会、親しまれる議会として努めてまいります。

議会報告会

●湯の丸施設計画をどう審査したか

議会報告会を11月24日に中央公民館で開きました。今回は議会全体の活動報告とともに、一昨年来の市政の大きな関心事

その後、総務産業、社会文教の両委員長が予算・決算審査で市民要望を予算に反映してきたことを重点的に報告しました。

時間を大幅に延長して議論

意見交換に移り、湯の丸施設計画について意見が集中しました。

報告会では、重点課題として湯の丸施設計画について、平成29年7月臨時会から今まで、時々議会で問題になった課題と焦点、これに対する賛成・反対意見がどのようなものであったかを紹介し、市側に公約どおり寄附金を集めきり、市民に説明責任を果たすよう求めた経緯を報告しました。

特に平成30年度に続いて寄附金が不足し、31年度も大きな起債（借金）が予定されることから、「市長の言葉に信じて認めたというが、それが問題ではないか」「議会も連帯して責任を負うべきだ」「集めきる」ことを求めた議会附帯意見が無視されたことをどう考えるか」など、この問題について



議会と語る会

総務産業委員会

●命の水をどう守る

～持続可能な水道事業～

総務産業委員会では昨年11月10日、「命の水をどう守る～持続可能な水道事業～」というテーマで、11名の市民の皆さんと語る会を開催しました。

参加された皆さんからは、市の水道事業の現状説明を求められた他、民間委託への不安や、これからの水道事業の方向性など活発なご意見をいただきました。

現在市の水道事業は、料金徴収や施設の点検など一部業務を民間委託しています。完全な民間委託に移行する自治体も出てきましたが、東御市ではその予定は無く、水道事業を市の責任で運営していくの方針です。

これから水道施設の老朽化による改修や更新、適切な水道料金の維持など課題もありますが、議会でも常に市の姿勢を注視し、市民のために持続可能な水道事業となるよう対応してまいります。



議会と語る会

社会文教委員会

●あなたにとって市民病院とは

～沢山の率直なご意見が寄せられました～

社会文教委員会では昨年11月17日に、「あなたにとって市民病院とは」というテーマで語る会を開催しました。

参加者に私たち議員も加わり、ワークショップ形式で実施しました。市民と議員がひざを交えて語りあう中で、率直なご意見が多数寄せられ、多岐にわたるご意見になりました。語る会の中で市民病院の診療内容など知らせてほしいという意見や訪問リハビリの充実を求める声、診療時間を延長してほしいというご提案をいただきました。身近にあることで安心感がある、医師と看護師さんに声がけしていただき気持ちを和らげてもらったなどの意見もありました。

これまで市民病院では回復期病床の充実を目指して、鹿教湯三才山病院との連携を進めてきました。9月議会では市民の皆さんから、連携促進の陳情がなされ、委員会でも全員の賛成で採択されました。残念ながら県の医療調整会議で賛同が得られませんでした。

私たちはいただいたご意見を参考に、よりよい病院のために力を尽くします。



参加者アンケートから

- 紙面とスライドを使った説明でわかりやすかった。これからも続けてほしい。
- 湯の丸プールについてどうなっているのか興味があって参加してみました。
- 議会報告会に参加してある程度理解できた。議会は正義感をもって運営すべき。無責任体質がよく理解できた。
- 初めての参加でしたが大変活気のある意見が出てよかったと思う。議員の方々（特に賛成した議員）から意見をもっと聞きたかった。
- 住民の意見を聞いていただく良い機会になりましたが、この意見を大事にして今後の議会活動を慎重に行っていただきたい。



議案番号	案件	採決結果	常任委員会審査結果	
			総務産業	社会文教
専決処分の承認(補正予算1件)				
議案第54号	平成31年度東御市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めるとについて 台風19号災害復旧事業費関係約4億7,000万円の増額補正	◎	—	—
平成31年度東御市補正予算(関連記事P.2~7)				
議案第56号	平成31年度東御市介護保険特別会計補正予算(第3号) 約970万円の増額補正	◎	—	—
議案第64号	平成31年度東御市一般会計補正予算(第5号) 台風19号災害復旧事業費を含む、約17億700万円の増額補正	◎	—	—
議案第65号	平成31年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算(第2号) 7億円の寄附金を起債に変更する財源補正	○	—	—
議案第66号	平成31年度東御市一般会計補正予算(第6号) 介護保険特別会計繰出金、約32万円の増額補正	◎	—	—
議案第67号	平成31年度東御市介護保険特別会計補正予算(第4号) システム改修業務委託料約97万円の増額補正	◎	—	—
条例の一部改正・廃止				
議案第58号	東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 一般職の職員の給料表改定と成年後見人及び被保佐人に関する制限の見直しの改正	◎	◎	—
議案第59号	東御市芸術むら公園条例の一部を改正する条例 簡易宿泊施設と農林業体験交流施設をコテージに一本化し利用時間と料金を統一する改正	◎	◎	—
議案第60号	東御市公共物管理条例の一部を改正する条例 市で管理する河川での土砂及び河川産出物の採取料の引き上げに関する改正	◎	◎	—
議案第61号	東御市地域情報交流施設条例を廃止する条例 みまきケーブルテレビの送信施設を民間に貸し付け、建物を普通財産とする改正	◎	◎	—
議案第62号	東御市農林水産物直売食材供給施設条例を廃止する条例 道の駅「雷電くるみの里」の施設を(有)雷電くるみの里へ譲渡を見据え貸し付けるための改正	◎	◎	—
議案第68号	東御市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 令和2年1月から4月の市長給料を半額に減じる特別措置を講ずる改正	○	○	—
人事				
議案第63号	農業委員会委員の任命について 令和2年4月から就任の、農業委員18名の任命	◎	—	—
請願・陳情				
請願第3号	免税軽油制度の継続を求める請願		採択	採択
陳情第34号	自衛隊への適齢者名簿を提供しないことを求める陳情書		不採択	不採択
陳情第35号	川西赤十字病院存続と充実を求める陳情書			継続審査
議員提出議案				
議員提出議案第3号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	◎		
議員提出議案第4号	湯の丸高原特設プール建設における市長責任及び今後の対応に関する決議の提出について	○		

常任委員会審査結果の「—」印は、常任委員会に付託されなかった案件です。

令和元年 12月 定例会の議決結果 下記以外の議案等は、全会一致でした。

議案番号	案件	会派名・議員名																	
		東翔の会				さわやかな風の会				太陽の会			日本共産党		公明党				
		横山好範	柳澤旨賢	青木周次	佐藤千枝	田中信寿	依田俊良	長越修一	山崎康一	中村眞一	阿部貴代枝	若林幹雄	高森公武	山浦利通	平林千秋	窪田俊介	依田政雄	高木真由美	
議案第65号	平成31年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算(第2号)	/	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	欠	○
議案第68号	東御市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	/	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	欠	○
議員提出議案第4号	湯の丸高原特設プール建設における市長責任及び今後の対応に関する決議の提出について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	欠	○	

本会議での各議員の賛否(賛成・採択「○」、反対・不採択「●」、退席「退」、議長「/」、欠席「欠」)

平成30年度決算審査
令和元年度定期監査
結果報告

代表監査委員
北澤 昌雄

一般会計及び特別会計決算審査結果

直面している厳しい社会情勢や市民ニーズ、行政需要の変化に的確かつ積極的に対応され、効率的な事務事業の執行に当たられており、住民福祉の充実に対し順調に進捗していると認めました。

審査書類等は基準に従い適切に作成されており、適切かつ良好です。財産の管理等財務に関する事務の執行においても、適当かつ適正です。

今回の審査結果における改善点や留意すべき事項があるため、今後とも一層の改善努力を求めます。

公営企業会計決算審査結果

水道事業会計・下水道事業会計は、独立採算制に基づ

づく予算編成を組み、設備の維持・修繕等の経費削減に努められましたが、平成30年度の純利益は、前年度より減額となりました。

病院事業会計は、病床稼働率は76.8%と前年度比5.0ポイント上昇し、また、一日平均患者数の入院患者数と外来患者数及び健康診断・人間ドックの受診者が増えたほか、経費削減等の成果により一般会計からの繰入金金は減額となりました。

定期監査の結果

監査手続き及び監査方法により総合的に判断した結果、概ね良好であり、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業管理について、否とする事項はありません。

ただし、事務の執行、事業の管理において改善に向けた意欲が感じられませんが、各部署間の温度差がある

り、慣行・前例踏襲の改善について検討を要する事項も見受けられました。

今後、厳しい財政運営が将来にわたって続くことが予想され、現状の業務遂行についても大胆な見直しが必要となるため、縦割りを排し、各部署との横断的な連携を強化し、効率的な行政運営、継続的な事務の改善に向けて取り組みを強化し、コスト削減に努力する取り組みを期待します。

課題・留意等共通事項

収入未済額・不能欠損額の適正管理及び処理については、解消に向けた取り組みの努力の跡が見られましたが、税負担の公平性や財源確保の観点からも、引き続き関係部署において管理を徹底し、収入未済額の縮減に努めていただきたい。

組織体制と人員配置につ

話題を追って 議会だよりの始まり

今からちょうど50年前の東部町時代(桜井浩員議長)、議会と住民を結ぶ「とうぶ議会報」第1号が発行されました。当時の議会報は、20×25センチ(B5サイズ)10ページのもので、現在と同じように定例会や臨時会での議事内容や議会運営の様子、また各議員の議会活動などが具体的に収録されています。昭和44年12月2日号の信州民報では、「こうしたものの発行は県下でもめずらしい。この議会報は、定例議会とにらみあわせて年四回ぐらゐ発行されているというが、これを見れば議会の内容が手にとるように町民にわかるという仕組み。」と報じられていました。



▲東御市議会だよりと東部町時代の議会報



一般質問QR

議員 11人

市政を問う

一般質問項目

- 青木 周次... 平林 千秋... 田中 信寿... 山崎 康一... 高木 真由美... 窪田 俊介... 長越 修一... 若林 幹雄... 佐藤 千枝... 山浦 利通... 阿部 貴代枝...



若林 幹雄議員

問 台風被害の復旧工事にどのような方針で臨んでいるのか
答 3年以内で終了し、橋梁は令和3年の完成を目指している



議会として加沢新堰の被害状況を視察

産業経済部長 六分水の復旧工事は完了、四分水については令和2年度をめどに取り組む。加沢新堰の水路が400メートルにわたり破損し、桜井の川原で来年度の米の作付けが困難になっている。
市長 任期いっぱい集めることが私の任務だ。

Table with 2 columns: 時刻(12日) and 水位【メートル】. Includes data for 9:00 to 22:00 and a note '以降は観測値無し'.

台風19号による千曲川の推移

台風19号災害対応 インフラ被害の復旧 都市整備部長 市道・水路は39カ所、河川3カ所が復旧済み。未復旧道路や橋梁については、災害査定後、来年度以降に工事着手。
問 他、SDGsについて質問。



台風19号で橋が流され残った橋脚(切久保橋)

災害時の対応と今後の課題について 災害対策本部・消防団・区の連携が必要である
問 今年から災害時の防災情報には警戒レベルを付すこととなっていたが、今回の台風では警戒レベルが付けられていなかった。付すべきではなかったか。
答 二次災害を防ぐためやバーなど必要と感じたが、消防団に配備したらどうか。
問 橋梁・道路・河川・農業施設等の被害
答 橋梁・道路は、橋の崩落を受け千曲川に水位観測所やライブカメラの設置が必要ではないか。
問 市民病院の運営に民間活力の導入を検討すべきと考えるがどうか。
市長 経営方針については、民間活力を活用していくことも今後の課題である。



青木 周次議員



佐藤 千枝議員

問 再編計画断念に伴う東御市病院事業の今後の方向は
答 病院の更なる充実と安定運営のため民間活力導入を検討

問 社会文教委員会主催で「あなたにとって市民病院とは」をテーマに市民と語る会を開催し意見交換や市民病院への要望など頂いた。具体的な改善策は何か。
答 病院長 夕方5時以降は医師が手薄になり患者に不便をかけているため、もう少し短い時間になっても対応できるように診療体制の見直しができるかを検討している。

Table with 2 columns: (参考) and 【メートル】. Includes data for 水防団待機水位, 氾濫注意水位, 避難判断水位, 氾濫危険水位.

塩田観測所 佐久市御馬寄(中津橋下流200m)

市長	出張場所(出張図書から)	先方の反応(復命書から)
4月8日	● 東京 大田区、A、B、C	A-寄付の継続を確認 B-検討を依頼。個人としても検討 C-企業の寄附は難しい。個人については検討
4月22日	● 東京 D、E、フカサ電工	D-個人版で協力依頼 E-協力したい フカサ電工一貫協力したい
4月26日	● 東京 スポーツ庁、笹川財団	経路を説明 努力は理解(エビデンス)
8月23日	● 東京 P、Q、GMO	P-(譲渡り)、Q-企業版を依頼、寄附した前例がない GMO-NR申し込みにお礼。企業版も依頼
8月26日	● 東京 内閣府	市の取り組みを紹介
9月4日	● 東京 R	R-事業を説明、メディア対応で助言を求める 内閣官房オリパラ推進事務局長、メディアゼミ講師、竹下博典事務所、宮下一部、橋下一部、太田昭宏衆議院議員事務所
9月17日	● 東京 合同庁舎 オペラタワー	表
9月18日	● 東京 日本水産、衆参議員会館、記者会見	内閣官房オリパラ推進統括官、地方創生本部参事官
9月26日	● 東京 合同庁舎	スポーツ振興官、消防庁応急対策室、総務省自治財政局
10月9日	● 東京 スポーツ庁、総務省、町村会館	員一連状況報告。

寄附金集めの市長出張記録(情報公開資料から)＝平林議員質問資料の一部

市長 一生懸命努力した。

問 市長の寄附集め出張記録を情報公開で得た。これによると秋口になったら止まってしまう。任期中に集めるのにはないのか。

市長 企業との意見交換で次年度以降にどの要望が強かった。

市長 一生懸命努力した。

問 市長の返済計画は任期中越権行為か。

問 7億円の起債を追加し来年度以降の返済計画を示した。向こう10年に寄附制度がどうなるかわからない。当初計画通り集めざるが市長責任だ。

市長 しっかり集めるとともに返済の道筋をつける。

問 任期中のことを言っているに過ぎず、越権行為だ。市長は一昨年以来、本事業の財政運営に失敗した責任をとり職を辞すべきだ。



本格的な利用が始まった湯の丸屋内特設プール

まえ3月定例会で早期償還を求めた附帯意見を付けたが、視野には無いのか。

市長 来年度以降、企業が企業版ふるさと納税へ積極的になる事が予想され、また3月の起債をせざるが、早期償還することで、プール運営を短期間とし運営費だけでも軽くすべしと思うがどうか。

市長 台風災害もあり私の任期中、基金は使われない。

問 起債償還と年間7千万円に上る運営費を抱えながら寄附金、ふるさと納税、ネーミングライツのみによる運営は難しく疑問である。市長公約に反し今まで賛成した私も含め責を問われるが、財政が許せば基金からの繰入で今回起債をせず、また3月の起債を早期償還することで、プール運営を短期間とし運営費だけでも軽くすべしと思うがどうか。

市長 台風災害もあり私の任期中、基金は使われない。

問 寄附金ですべてを賄うとし、30年度は企業版ふるさと寄附金5億円余の目標で「実現できる。確信する」としてきた。実態はどうか。

市長 不足し1億6000万円起債した。

問 31年度は最終年度で「任期いっぱい集めざるのが私の責任」「背水の陣」としてきた。

問 企業がうんと言わなければ事業が成り立たない道を進んでいるところに根本的な問題がある。

市長 残された任期中に一生懸命集める努力をする。

問 10年間の起債償還、プール運営費を一般寄附、ふるさと納税、ネーミングライツで賄うとする根拠は、

企画振興部長 今年度までの実績を基に可能な額を見

積もった。改めて企業回りをすると、近隣各県の水泳協会、関係団体、スィミングスクールにも伺う。

問 プールの運営は当初3年間であった。それを踏

まえ3月定例会で早期償還を求めた附帯意見を付けたが、視野には無いのか。

市長 来年度以降、企業が企業版ふるさと納税へ積極的になる事が予想され、また3月の起債をせざるが、早期償還することで、プール運営を短期間とし運営費だけでも軽くすべしと思うがどうか。

市長 台風災害もあり私の任期中、基金は使われない。



平林 千秋議員

問 湯の丸で財政運営に失敗した責任を明らかにせよ

答 寄附集めに努力し、返済の道筋を示すことが責任



田中 信寿議員

問 一般財源も使い起債せず

答 湯の丸プール運営費の軽減を



令和元年度成人式

問 災害復旧は現状復旧でなく、改良復旧を視野に入れていくべきではないか。

都市整備部長 国は今回

問 2022年から民法で成人年齢が20才から18才に引き下げられるが、それに従い成人式をいつ行うのか、飲酒の問題もあるがどうか。

教育次長 成人式については法律の決まりはなく、各自治体の判断で実施されている。市ではR2年1月に総合教育会議で決定の予定である。



青少年の健全育成～ネットリテラシー講座～

問 過度の使用での危険性は。

教育次長 やめようと思ってもやめられないと感じている小学6年生、中学2年生、中学3、4年生が3、4割程度あり、保護者も2割程度が子どもに依存傾向があると感じているという結果

問 安定した防災組織と防災力向上の防災士の育成を。

総務部長 各区長を班長とする消防防災班の活動の枠組み等を精査する中で、防災士の育成に着手していく必要があるかと考える。



山浦 利通議員

問 住宅の耐震診断の補助について

答 費用の80%・上限百万円まで補助



阿部 貴代枝議員

問 スマホ等の使用時間が長くなり危険性はどうか

答 長時間使用でネット依存ゲーム障害の危険性を感じる

問 耐震診断の補助事業の内容はどうか、また空き家対応はどうか。

都市整備部長 S56年5月31日以前の木造住宅を対象に実施しており、H18～H

30年度までに575戸実施した。その際の費用は発生しない。それに基づき工事を実施した実績は30戸(2戸建替含む)であり、その補助は80%で百万円を上限と

の災害に対し二次災害の観点からも改良復旧を行うこととしており、市でも国の考え方に基づき、より良い復興、ビルド・バック・ベターの観点をもって取り組み、県と十分な連携協議を行い、早期の復旧に全力で取り組んでいく。

成人式について

問 毎年行う情報通信機器のアンケート調査の状況は。

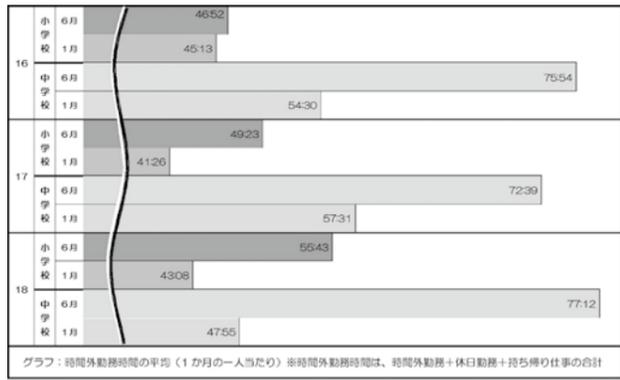
教育次長 スマートフォンなど所持率は10年前に比べ小学生で約4倍、中学生で約3倍の所持率に。以前の

使用目的は中学2年生で音楽ゲームだったが、今年度の調査では動画、ゲーム、LINE等の無料通信アプリと使用形態の変化とゲームの使用時間が大幅に増加した。

から、児童・生徒のネット依存ゲーム障害の危険性を感じている。

問 今回の災害支援を要する家庭への市の配慮は。

健康福祉部長 介護が必要な方を対象に福祉避難所を開設。視覚・聴覚障がい者の家庭の安否確認等を実施。



市内公立学校教員の時間外勤務時間調査の結果

問 時間外勤務の実態はどうか。
教育長 平成28年度から平成30年度で、東御市で勤務した教員1人当たりの1カ

問 市での英語の教科化やプログラミング教育が導入される。教員への負担感が更に増える要因だ。増える要因だ。か。
問 市の課題認識はどうか。
教育長 教員が授業や授業準備等に集中し、授業の質を高められる環境が必要だ。十分な環境とはいえない。まず学校内の業務量を軽減できるような取り組みを実施してきている。

問 市内小・中学校教員の働き方について概要を問う。
教育長 教員はテストの作成や採点、事務処理を授業後の夕方からしか行えない。実際には保護者からの電話

問 対応や中学校の部活動、小学校では特別クラブ等がある。休日や夜には地域行事への出席など、1年を通して多忙をきわめている。来年度は学習指導要領の改訂により、小学校での英語の教科化やプログラミング教育が導入される。教員への負担感が更に増える要因だ。増える要因だ。か。
問 市での課題認識はどうか。
教育長 教員が授業や授業準備等に集中し、授業の質を高められる環境が必要だ。十分な環境とはいえない。まず学校内の業務量を軽減できるような取り組みを実施してきている。



窪田 俊介議員

問 教員の時間外勤務時間の動態はどうか
答 全体的に時間外勤務時間は増えている



湯の丸特設プール（外観）

問 湯の丸高原施設整備基本構想と地方創生について現状はどうか。
企画振興部長 来訪者数、宿泊数、観光

問 湯の丸高原施設整備基本構想と地方創生について現状はどうか。
市長 経済波及効果として、アスリート食堂ができ雇用創生もでき、湯の丸高原ホテルも合宿所を増築するというような民間投資も生まれている。東京の企業が蓄積している多くのお金を地方に移していく。人お金仕事を移していくという地方創生が実現できると考える。

問 特設プールの利用状況と財源はどうか。
企画振興部長 利用状況は、日本水泳連盟や大学、水泳愛好者団体、一般など1525人、選手からは、

問 「水がきれいで泳ぎやすい、宿舎はセキュリティ対策が良く料理がおいしい」など、良好な感想をいただいている。財源については、企業版ふるさと寄附金目標達成が困難な状況にあり、最大で7億円の歳入不足が見込まれることから、起債により手当てすることとした。
問 湯の丸高原施設整備基本構想と地方創生について現状はどうか。
市長 経済波及効果として、アスリート食堂ができ雇用創生もでき、湯の丸高原ホテルも合宿所を増築するというような民間投資も生まれている。東京の企業が蓄積している多くのお金を地方に移していく。人お金仕事を移していくという地方創生が実現できると考える。



長越 修一

問 湯の丸高原施設整備事業の効果はどうか
答 雇用の創出もできて様々な経済効果は波及している



山崎 康一議員

問 河床を下げる計画はどのように進んでいくのか
答 堆積土の状況を踏まえ順次作業を進めていく



台風19号により崩落した田中橋

問 他市町村への広域避難について
郷仕川原地区のように指定避難所に避難しづらい場合の他の自治体への避難や連携につ

問 広域避難所には公衆無線LAN環境を備えることが必要ではないか。
総務部長 市ではこれまで観光と防災を主な目的にWiFiを整備してきた。防災拠点への整備については、国などの補助事業を活用したり、研究して整備について検討していく。

問 千曲川流域治水について、国・県・市町村会議で、河床掘削の河道整備の話合いがあったのか。
都市整備部長 千曲川関係の市町村による信濃川水系緊急治水対策会議が設立された。各市町村からハード、ソフトの両面にわたり、河床の土砂撤去や各地域の防災対策に関する意見や要望が出された。今後は出された意見を踏まえ、5年間をめどにプロジェクトをまとめるとしていく。



災害現場視察

問 避難所では、個々のニーズに合わせた対応ができたのか。
総務部長 各避難所に保健師を配置し、健康相談も行った。
問 避難所では、個々のニーズに合わせた対応ができたのか。
総務部長 各避難所に保健師を配置し、健康相談も行った。

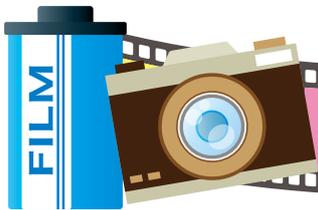
問 危険な場所で活動する消防団員の情報の共有はどのようにしているのか。
総務部長 平常時から、本部役員や消防部ごとにラインアプリのグループ設定をしており、今回の台風の際にも、位置情報や被害箇所画像の共有を図り、対応に役立てた。
問 避難所では、個々のニーズに合わせた対応ができたのか。
総務部長 各避難所に保健師を配置し、健康相談も行った。

問 自主防災組織についてはどのように機能したのか。
総務部長 区内の安否確認や要支援者への声掛けのほか避難所の開設を行った。
問 危険な場所で活動する消防団員の情報の共有はどのようにしているのか。
総務部長 平常時から、本部役員や消防部ごとにラインアプリのグループ設定をしており、今回の台風の際にも、位置情報や被害箇所画像の共有を図り、対応に役立てた。



高木 真由美議員

問 ハザードマップの活用はどうか
答 市の防災訓練などを通じて推進していく



若者フォーカス

東御市社会福祉協議会(社協)

原澤 寛和さん 小野 紘彰さん



地域に暮らす人を元気にするために 日々活動

今回は社協で、地域福祉係(住民相談や出前講座等の地域活動)の小野紘彰さんと総務係(法人運営や経理等)の原澤寛和さんにお話を伺いました。

社協に入ったきっかけはなんですか

小野さん 大学での実習等で、施設よりも広い範囲で仕事ができる地域福祉に興味を持ち、社会福祉士の資格を取って社協に入りました。

原澤さん 大学を出て9年間は他市で弁護士として仕事をしていたのですが、地元で働きたいと思い、募集のあった社協に転職しました。

台風19号被災地への災害支援活動はどんな事をしましたか

小野さん 原澤さん 職員として災害ボランティアセンターでの運営支援や市のボランティアバスで行った参加者の付き添いを行いました。(4回)

災害支援活動に参加してみてもどんな事を感じましたか

小野さん 泥かきや家財の運搬などの作業を行い、臭いがきつかったり、

運ぶものが重かったりで大変でした。ボランティアの人は文句を言う人がほとんどいなくてびっくりしました。思いと行動は比例すると感じました。また、災害支援は社協の使命と感じました。

原澤さん ボランティア活動をしている人達は、純粋に災害に遭った人たちの手助けがしたいとか、経験として行ってみたいという思いの人がほとんどで、自分もいろいろと経験して今の仕事に役立てたいと思いました。実際に現場に行ってみて、現地の人とのつながりもできたので、また行きたいと思っています。

受け入れる側となった場合の心得はどんなことですか

小野さん 物よりも運営



明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか… 令和2年3月定例会における一般質問は 3月5日~6日に予定されています。

明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか… 議会傍聴へようこそ

あともがき

報道によると、昨年世界で一番自然災害を受けた国は、日本だそうです。我が東御市でも、昨年の台風19号では橋梁の落下・インフラ流出、農業用水施設等大きな被害を受けました。災害復旧は、3年以内に復旧するという原則もあり、田中橋は今年3月末までに開通する予定ですが、海野宿橋は見通しがたない状況です。市としても今後の災害に備え、改良復旧を視野に入れた復旧工事を進めていくとのこと。被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く普通の生活に戻れるよう、また二度とこのような災害が起きないことを祈るばかりです。

山浦利通

広報委員

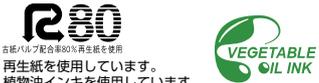
- 山浦 利通
- 窪田 俊介
- 田中 信寿
- 高木 真由美
- 中村 眞一
- 平林 千秋
- 依田 俊良
- 阿部 貴代枝
- 横山 好範

市議会だよりについて、ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

東御市議会・事務局
〒389-0592 長野県東御市県281-2
TEL.0268-64-5810
FAX.0268-62-5040

訂正とお詫び…議会だより第63号(11月1日発行)に掲載した内容に誤りがありました。次のように訂正してお詫び申し上げます。・9頁社会文教委員会文中9行目…聴覚障がい者との語る会。(誤)社会福祉協議会から派遣される手話通訳者→(正)市から派遣される手話通訳者



[東御市議会広報紙] 第64号 ◆発行/東御市議会 ◆発行責任者/東御市議会議長 横山 好範 ◆発行日/令和2年2月1日 ◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/中沢印刷株式会社

この広報は議員の自主編集で発行しています。